

# パンタナル通信

一般社団法人 南北米福地開発協会 会報

2025年6月1日 261号

世界平和地球村の建設と自然環境の保護

## レダに生まれた新しい子女

### 滝川哲盤・ジエシカさん家庭に第一子



【チャパボラ坂西さんより】2025年3月13日、日陽園に一つの喜ばしいニュースが届きました。滝川家に第一子の滝川澄奈ベティ（たきかわすいなベティ）ちゃんが生まれたことです。今回はめでたく親になられた滝川夫妻に話を聞いてみました。

**Q** 子どもが生まれてからの率直な思いを聞かせてください。

**A** ジエシカさん「今までも幸せを感じることがありましたが、子どもが

生まれてからは毎日幸せを感じるようになりました。夜泣きとかで体は疲れるし大変なことはありませんが、子どもの表情を見るだけでその疲れが吹き飛びます。そばにいてだけで

幸せで、宝物ができたような気持ちです。「子どもが私の天国」という言葉を聞いたことがありましたが、そのような父母の気持ちが分かるようになります。

**A** 哲盤さん「生まれた瞬間は感動に包まれ、神様に感謝しました。父親の実感はずいぶん湧かなかったのですが、これから少しずつ親になっていくのだと思います。子供を育てるのは簡単ではありませんが、ジエシカさんの母親としての姿に感心しています。

**Q** 出産で大変だったことは何ですか？

**A** ジエシカさん

● 出産前：検診に行くだけで4時間半も状態の悪いでこぼこ道を車で走る必要がありますし、身近に出産の事情を理解し親身になれる人がいなかったで、そういう人がいて欲しいとは思いました。



ジエシカさんのお母さん、澄奈ちゃん、ジエシカさん、哲盤さん。

食事に限っては病院で鉄分が足りていないと言われましたが、日陽園にはあまり鉄分を摂れる食材がありません。日本から煮干しを送ってもらいましたが、それでも限りはあったので大変でした。また甘いものが食べたくなっても日本とは違い、簡単には手に入らないので、自分で作って食べていました。

● 出産時：12日の早朝3時に突然破水しました。36週目の予想より早いタイミングでしたので、入院の準備も進めてない状態でした。哲盤さんはちょうど前日の夜に別の町に出かけていたので、着いてすぐ引き返すことになり、慌ただしい入院になりました。その後はなかなか陣痛が始まりませんでした。夜、20時になっても陣痛が始まらず、破水から17時間経ったタイミングで医師の方から帝王切開での出産を提案されました。「翌日の朝まで陣痛を待つて自然分娩する選択肢もあるが、母子ともに感染症のリスクが高まる」と言われました。また朝になっても陣痛が来ないようなら帝王切開になるとも言われました。その提案をされたときは感染症になるよりは帝王切開でよいと思いました。けれど、哲盤さんは帝王切開にならない選択を最後まで考えていました。話し合いの末、最終的に帝王切開での出産を決定したのですが、その時には主治医の方がおらず、翌日の朝8時まで待ちましようと言われました。

すぐに始めるものだと思っていたので困惑しましたが、その日の夜、23時から陣痛が始まりました。そして6、7時くらいには痛みがピークを迎えていました。7時半にようやく主治医の方がやってきて、自然分娩で出産できるとの判断をされ、その後はスムーズに進み、無事出産できました。（次面につづく）

QRコードは動画へのリンクです。PDF版ではタップ（クリック）でご覧になれます。





●岩澤園長が夫人を伴ってレダに帰還。5月6日



●澄奈ベティちゃん和ジェシカさんのお母さん(青シャツ)の歓迎会。4月25日



政府の救援物資を届けに来た軍艦。レダで飲料水を補給。5月3日



●ようこそレダへ、澄奈ちゃん & 弘美さん。



●島田家二女が祝画を。



目的を果たして帰国の途に就くジェシカさんのお母さん。5月13日



庭父に  
澄奈ちゃん  
の親を  
お見せ  
します。



澄奈ちゃんのお母さん(青シャツ)の歓迎会。4月25日

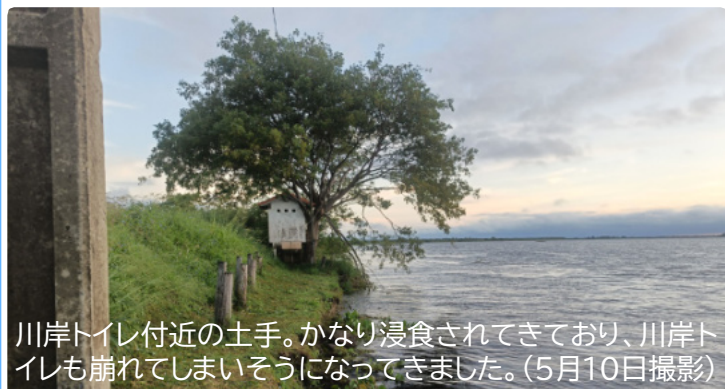
**澄奈ちゃん**(一面よりつづく)  
今回の出産にあたり、多くの方々が意識して援助をしてくださいます。出産当日に祈願書を書いてくださった、呼名祈禱をしてくださった、後で聞きました。私一人では帝王切開での出産になつていたと思いますが、いろいろな人のおかげで、自然分娩で産むことができました。初めて霊界の共助を実感することができました。また今回の出産を経験し、改めて13人の子どもをお産みになったお母様の愛の偉大さを感じました。  
**Q** レダで子供を育てることに、どのように考えていますか？  
**A** ジェシカさん：大自然、動物と触れ合いながら神様を感じられるようにしたいです。まだ人間の手がほとんど入っていない美しい自然の地で、本来のエバの姿のようにスィちゃんを守っていききたいです。そのように子が育つ環境にしたいです。健康面は心配ですが、

精誠を尽くしながら守られることを願いつつ、以前住んでいた島田家庭からアドバイスをもらいながら守っていききたいです。  
今後水落さんが作る遊具であったり、子どもと一緒に仕事を体験したりできると思うと、子どもにとっても私達にとっても良い刺激になりそうです。とても楽しみです。  
**A** 哲盤さん：教育をどのようにしていくかはこれからの課題だと思っています。学校教育という面でも愛天、愛人、愛国という面でもしっかり考えていきたいです。けれどそれ以上に、まずは医療の面をどうにかしなければならぬと考えています。これから子どもが増えることを考えても、日陽園に医療的な知識があり、状態を見ることが出来る人材が必要になってくると思います。  
**Q** 最後に滝川夫妻からのメッセージをお願いします。  
**A** 今回の出産に対して、多くの方々が意識して支えてくださり、心より感謝申し上げます。私たちは周りの人々に喜びを分け与えられる家庭を目指していきたいと思いたすので、今後ともよろしく願いたします。(チャパボラ坂西記)

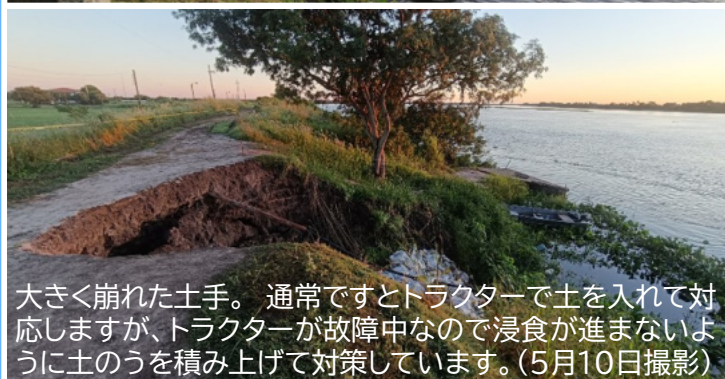


文信出宣教師、文信興宣教師ご一行が日帰りでレダを訪問されました。公館前でレダのメンバーたちと共に。5月19日

## パラグアイ川によるレダ河岸の浸食



川岸トイレ付近の土手。かなり浸食されてきており、川岸トイレも崩れてしまいそうになってきました。(5月10日撮影)



大きく崩れた土手。通常ですとトラクターで土を入れて対応しますが、トラクターが故障中なので浸食が進まないように土のうを積み上げて対策しています。(5月10日撮影)



パラグアイ川は上(北)から南へと流れ、レダはそのカーブ地点にあります。衛星画像 by Google Earth

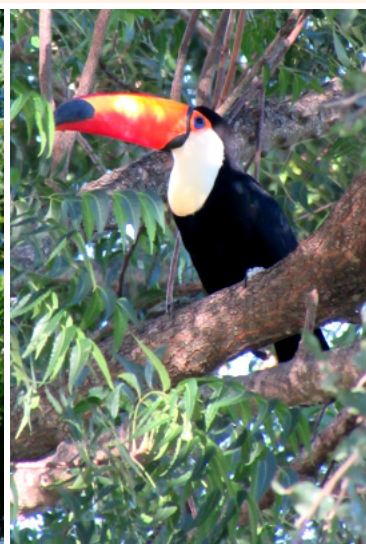
レダの川岸は、パラグアイ川の流れによって、少しずつ削り取られていきます。これまで大掛かりな護岸工事は成されていません。どのような対策が有効で可能か、船の接岸も考慮し、私たちと共に考えていただければ幸いです。



崩れた土手に土嚢を敷き詰めて応急処置。4月29日



モリンガの花。5月13日



オニオオハシ(Tucán toco)



## ショート動画



1 オニオオハシが農場に  
2025年4月20日

1



2



2 ヌタ場で転げる豚  
2025年4月23日

3 雨水が乾かない道路  
2025年4月26日

3



4



4 小川が道路を切断  
2025年4月26日

## 取水筏が消えた！

### レダの電気屋さん 第23回



以前にもお伝えいたしましたが、私はレダの飲料水を作る浄水作業も担当しています。ですので、毎朝、設備がちゃんと稼働しているかを確認しています。

去る5月5日の

朝、取水筏(いかだ)の確認に行ったらとて、筏が消えていました。ポンプにつながるホースはあるのですが、筏は沈んだのか流されたのか、水面上から見た限り、影も形も確認できませんでした。結論としては、流されたのではなく、川底に沈んでい

ました。ただし、原因は不明です。結局、引き揚げるのは困難だということが分かり、応急対策として、筏なしで取水口を川に沈めて水を上げております。

今後のことですが、新たな筏を作るとの判断ですので、元の状態に戻るまで少々時間がかかりそうです。

今回の原因として推定される事象の一つに、川岸の土手から土が筏の上に崩れ落ちたという可能性が考えられます。

レダは大河パラグアイ川の流れが緩やかにカーブする位置にあり、年々河岸が浸食されていきます。岸のトイレ付近の土手も、結構ギリギリまで浸食されてきています。(三面に関連写真)



通常だとポンプの向こう側に筏の姿が見えるはずですが、見えなくなってしまいました。(5月5日撮影)

今までは、崩れた土手を埋めるという作業で対応してきましたが、そういった方法では限界が近づいているように思います。(山崎茂章)

## パクー放流式プロジェクト

クラウドファンディング(第1弾)実施中！

目標額 **100万円**

(1尾 1,000円 × 1,000尾)

レダで養殖したパクー1,000尾を自然に放流します。

場所: パラグアイ、プエルト・レダ

日時: 2025年6月1日

ご支援金額の例

- 1,000円: 1尾のパクーを放流
- 3,000円: 3尾のパクーを放流
- 10,000円: 10尾のパクーを放流

さらに大きい金額でも、自然と地域社会を守るための貢献になります。

楽天銀行 第三営業支店(263)

口座番号: 7580014

一般社団法人 南北米福地開発協会



### 編集者のひと言

▼澄奈ちゃん誕生のニュースはいかがでした? 「抱っこさせて!」と聞こえてきそう。▼遠隔地で家庭を営む。決して簡単な話ではありません。応援しましょう。▼もう一つの「よき知らせ」が来月に予定されています。皆様、お祈りを。▼レダは毎日少しずつ川に削り取られていく。治水の国ニッポン、レダで活かせる伝統の技はないだろうか?

### お知らせとお願い

パンタナール通信は、本年(2025年)より紙面版に代えて、動画版、PDF版への移行を進めています。情報発信力をいっそう高めながら、発送費を削減することで他の活動の強化を図ることがねらいです。引き続き紙面版を希望している方には、紙面版もお送りしています。以下のような場合はお手数ですが、下記の事務局まで連絡をお願いいたします。

- 紙面版を希望しているのに紙面版が送られてこない場合
- 動画版のみ希望しているのに紙面版が送られて来る場合

## 一般社団法人 南北米福地開発協会 事務局

〒182-0021

東京都調布市調布ヶ丘  
2-15-1 ビリアベルデ 407

電話: 042-449-0183

支援金振込口座: ゆうちょ銀行  
記号10280 番号61349751  
一般社団法人 南北米福地開発協会

e-メール: office@asd-nsa.com  
ホームページ: https://asd-nsa.com

パンフレット: 当会の紹介と入会申込書  
https://asd-nsa.com/sk/

## パンタナール通信 ブログ版



パンタナール通信

パンタナール通信は当会の会報です。毎月、紙面版・PDF版・動画版を発行しておりますが、新しくブログ版ができました。(動画版はブログ版の中に収容されます。) 右のQRコードからアクセスしてください。



## 感想をお寄せください

<https://asd-nsa.com/kf/>



本紙記事へのご感想、ご意見、ご提案などを送りください。ご感想は本紙に掲載させていただくことがあります。

## LINE公式アカウント

## レダの日常・日本の非日常

レダ現地の様子、プログラム・イベント告知・参加者募集案内などを配信します。



友だち追加はこちらから！